INDY ROADSTER

組立取扱説明書

Bolinkのインディーロードスターキットをお買い上げいただきましてありがとうございます。
キットの組み立ては説明書テキストと写真、展開図を参考にしていただければ比較的容易です。
このキットには2チャンネルの送信機と電子式のアンプが必要です。送信機の中にはサーボやアンプがついているものもあります。
また、ギアをダメージから守るためにサーボセーバーをステアリングサーボに使うようお勧め致します。一番お勧めするのはKimbrough社のもので、これはほとんどのブランドのサーボに合うようになっています。またモーターにはレジェンド用の32Tストックモーターでも十分なパワーを得られ、気軽にRC走行を楽しむ事ができます。
このキットの組立は大変シンプルですが、本文の中には大切なステップがあります。取扱説明書をよく読んで写真や図を参照してください。

このキットにはソケットスクリューに合う2種類のヘックスレンチ（0.050インチ、3/32インチ）が付属しております。他に小さいペンチ、1/4インチナットドライバー、7/16インチのナットドライバーまたはレンチ、ホビーナイフをご用意ください。また、デフの調整には、別売りの BL7613プラスティックソケットレンチが便利です。

本キットには下記の部品バッグ、パーツから構成されています。

BAG H1	シャーシパーツ	BL 2216	インディーロードスターボディ
BAG 2S	デフパーツ	2216-3	ボディパーツ
BAG 3L	ハードウェア	BL 5049	シャーシプレート（2）
BAG 4L	フロントタイヤ	BL 5611	48P 81T スパーギア
BAG 5L	リアタイヤ	取扱説明書、Bolinkデカール	

Bolink RC電動カー取扱上のご注意

＊ご使用者が未成年の方の場合は保護者の方もお読みください。

RC電動カーは高性能モーターとラジコン専用バッテリーを使用するため、時速50㌔以上のスピードが出ます。またモーター、ラジコン専用バッテリーは大電流が流れ、高速回転しますので専門の知識と取扱方法が必要です。性能を100%発揮させ、また危険を防止し周囲に迷惑を掛けないためにも、以下のご注意をお守り下さい。

キットの組み立て
付属の組立説明書を良く読み組立手順と組立方法をよく理解してから説明通りに組立て下さい。特に高速で回転するモーターやギヤ類、走行中に振動を受けるタイヤやボディ、バッテリー等は確実に取付けて下さい。また、組立済みキットの場合も走行前に必ず各部の確実な組立を確認して下さい。組立説明書を見ても理解できない部分がある場合は、販売店や弊社におたずね下さい。走行前に下記の注意を必ずお読み下さい。

⚠危険 走行場所

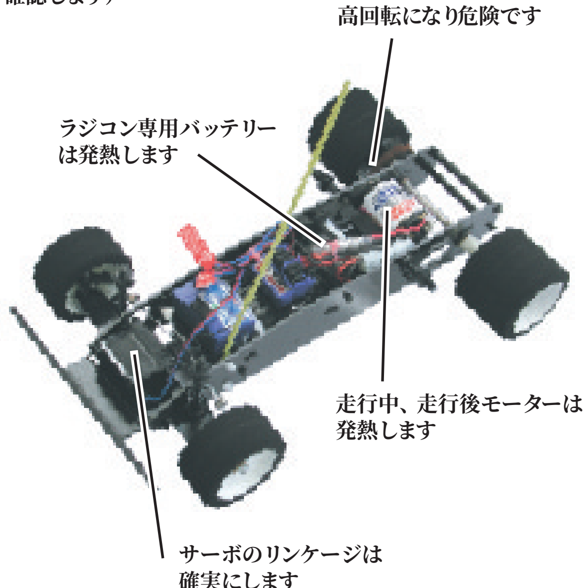
◇基本的にはRCカー専用のコース等で走行して下さい。専用コース以外で走行する場合は、思わぬ事故で人がケガをする場合があります。
◆道路では決して走らせてはいけません。
◆RC模型を禁止している場所（公園、広場等）で走らせてはいけません。
◆家の中や広くない場所で走らせてはいけません。
◆夜間また早朝等、走行音が騒音になるような時間に走らせてはいけません。
◆人がいる建物（住宅、病院、学校等全て）のそばや、まわりに人がいる場所（公園等）で走らせてはいけません。
◆その他、RCカーを走行することにより、事故やケガが起きたり、まわりに迷惑となるような可能性がある状況では決して走らせてはいけません。

⚠危険 走行前の注意

◇はじめに必ずモーター、ラジコン専用バッテリー、RCプロポの各メーカーの取扱説明書及び注意書をよく読み、安全な取扱方法を理解して下さい。
◆モーターは組立説明書で指定した、RC電動カー専用の物をご使用ください。決してその他のモーターを使用してはいけません。
◆バッテリーも組立説明書で指定した、RC電動カー専用の物（POWER SP-1500等）を使用し、その他のバッテリー等を使用してはいけません。
◆RC用モーターは小型でも強力なパワーがあります。シャーシ等に固定せずに不用意に回転させることは危険です。
◆ラジコン専用バッテリーは小型ですが、内部抵抗が低く大電流（数十アンペア）が流れるため、ショート等に注意して取り扱わないと思わぬ事故になる場合があります、初めての方は必ず販売店やベテランの方に指導を受けて下さい。また、バッテリーは充電中発熱します。充電中は必ずそばに人が付き、周囲に燃えやすい物がない場所で行なってください。また子供だけで充電してはいけません。
◆モーター及びバッテリーは走行中と停止後は、部分的に高温になっており、触れるとヤケドする可能性がありますので充分気を付けて下さい。
◆走行が終了したら、送受信機の誤操作やスイッチの切り忘れ等による模型の暴走等を防ぎ、ラジコン専用バッテリーを安全管理するため、必ず模型からバッテリーを外して、別の場所に保管してください。
◆モーター回転中は各ギヤ、タイヤ等が高速で回転しており、指を触れたりするとケガをしますから充分注意して下さい。
◆各部のセッティングを行う場合に、モーターを回転させる場合は、安全のために必ずメンテナンス用スタンドの上で行ってください。

⚠危険 走行時の注意

◇走行前に以下の点を再度確認します。
◆送信機の電池が充分にあり、またラジコン専用バッテリーが確実に充電されているか確認します。
◆モーターのピニオンギヤとメインギヤが、無理なく確実に噛み合い、そしてスムーズに回る位置でモーターがマウントに固定してあるか確認します。
◆プロポセットが確実に取り付けてあり、また正しく配線されているか確認します。
◆ステアリング・サーボのリンケージが正しく接続してあるか（左右が逆になっていないか）確認します。
◆スピードコントロール・アンプのニュートラル・ポイント調整と、ハイ・ポイント調整が正しく設定してあるか確認します。調整がずれていると、電源スイッチONと同時にモーターが高回転になったり、模型が暴走する危険があります。
◆周囲でラジコン模型をやっていないか確認し、もしいた場合は自分のプロポのバンドと同じか確認して下さい。同じ場合は同時に走行してはいけません。どちらもコントロール不能になり大変危険です。仲間同士で走らせる場合もバンドをよく確認して下さい。
◇走行は以下の手順で行なって下さい。
①送信機のスイッチを入れます。
②受信機のスイッチを入れます。
③送信機のトリムを調整し、コントロール・アンプのニュートラルとステアリングのニュートラルをもう一度確認します。
④周囲の安全をよく確認し、模型をスタートして下さい。（始めはゆっくり走行し、異常がないか確認します）
◇走行をやめる手順
①ラジコン専用バッテリーを完全に使いきる前に走行を止めて下さい。
②受信機のスイッチを切ります。
③送信機のスイッチを切ります。
◇走行後は速やかにラジコン専用バッテリーを模型から取り外してください。
◇走行した後は毎回必ず下記の各部をチェックし、消耗したり、破損した部品を交換して下さい。
これを怠ると走行中に突然コントロールを失い、思わぬ事故が起きる場合があり大変危険です。
◆模型全体の組立ビスのゆるみ
◆モーターの取付のゆるみ
◆プロポのリンケージ、及びアンプの調整。
◆バッテリーコネクターの劣化
◆ギヤ類の欠けや破損
◆各コードの接続部分
◆プロポ用電池の残量
◆ホイル、タイヤの取付
◆ボディの破損や亀裂



＊アンプの調整や取付けは確実にしてください。
（シャーシ写真はレジェンドです）

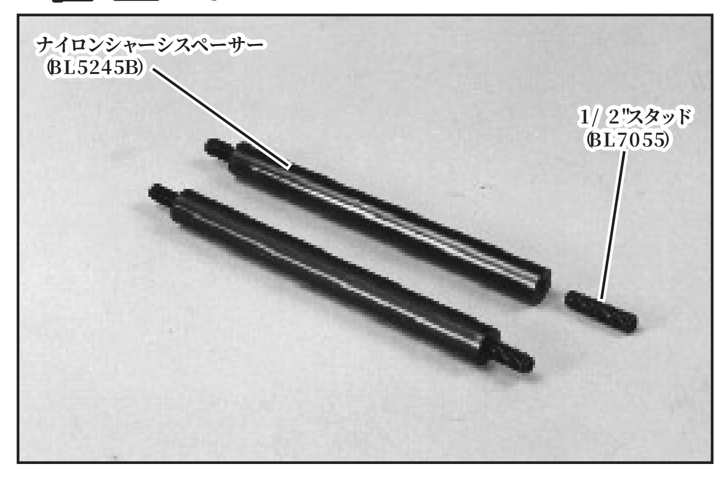
⚠危険 その他注意

◇RCモデルは小さな子供が興味を示しやすく、さわりたくなりますから、ご使用されない時は子供や幼児の目の届かない安全な場所に保管して下さい。
◇模型の工作や走行には種々の工具や刃物が必要です。また模型の部品にはバリが残っているものや、手を切りそうな素材もありますから、無理をせずに充分に気を付けて作業をして下さい。

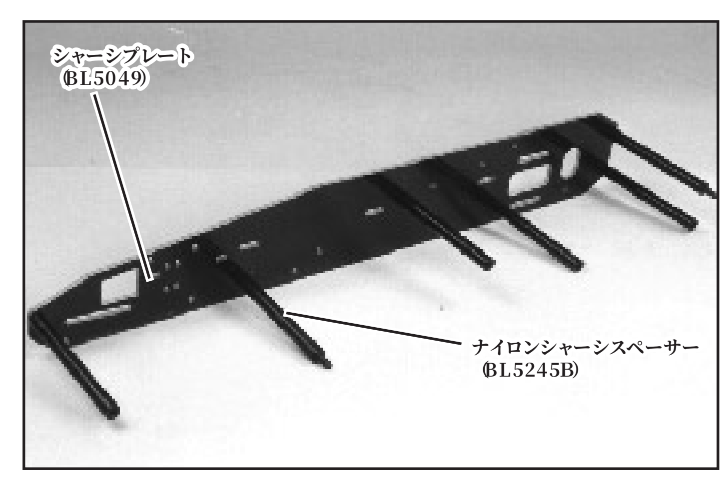
本商品を改造、その他組立説明書および本注意書に反した使用による、故障や事故等につきましては保証いたしかねますのでご了承ください。

＊万一、製品に不良や欠品等がございましたら、無理に加工等されずに、購入販売店または、弊社サービス部へご連絡下さい。

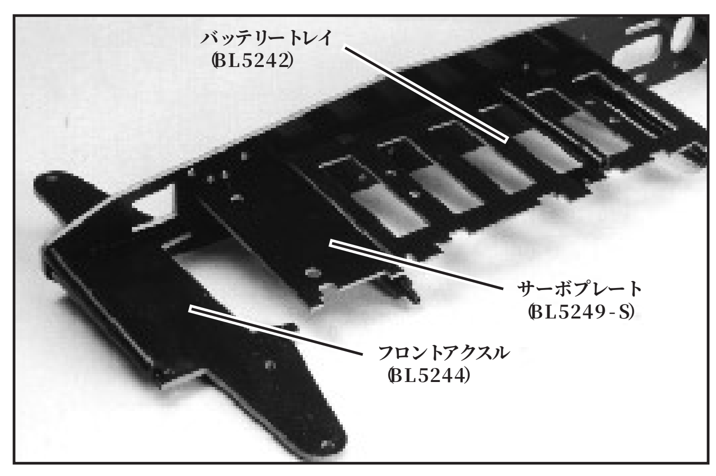
組立て ▶▶▶



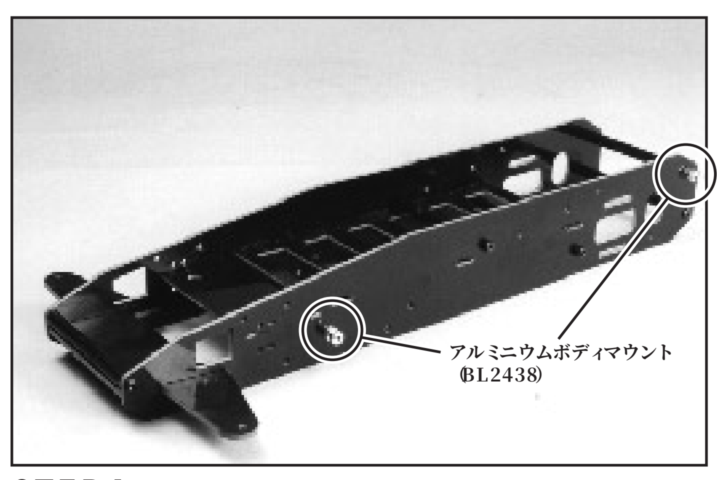
STEP1シャーシの組み立てにあたり、まず、 BAG H 1を開け、2本のナイロンシャーシスペーサー (BL5245B) それぞれの両端に1/ 2"スタッド (BL7055) を半分ねじ込んで下さい。



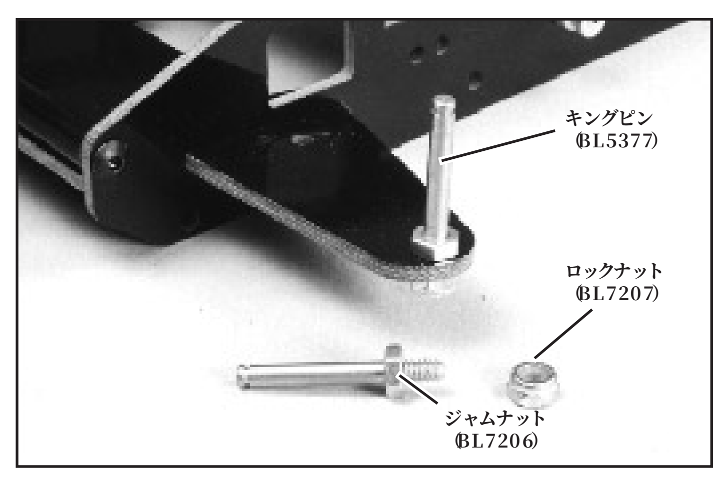
STEP2 写真を参照しながらナイロンシャーシスペーサーをシャーシプレートに取り付けて下さい。フロント部とリアの下部のナイロンシャーシスペーサーの取り付けには3/ 8ボタンヘッドスクリュー (BL7044)を使用します。スタッドを取り付けたスペーサーはアルミニウムボディマウント(BL2438)で固定して下さい。残りの2本のスペーサーは3/ 8キャップヘッドスクリューを使用して下さい。



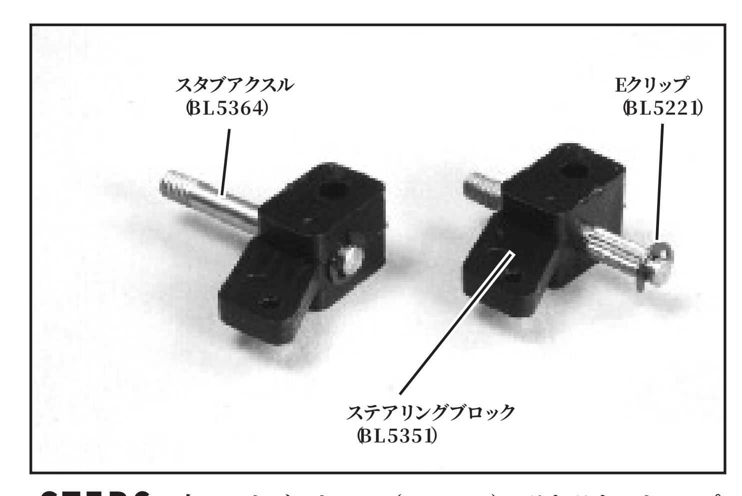
STEP3 フロントアクスル (BL5244) をスロットにスライドさせてはめて下さい。バッテリートレイ (BL5242) とサーボプレート (BL5249-S) をシャーシのスロットにはめて下さい。シャーシのスロットがきつい場合はバッテリートレイとサーボプレートのタブ (ツメ) の先端をサンドペーパーや目の細かいヤスリで加工して下さい。



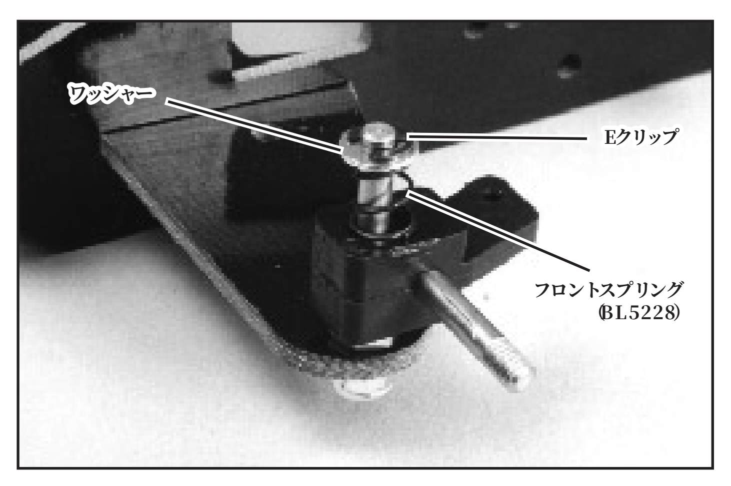
STEP4 まだ、取り付けていない側のシャーシプレートを上記と同じ様に取り付けて下さい。
組み上がったシャーシはテーブルなどの平らな場所に置き、左右のシャーシがバランスよく組まれているか見て下さい (どちらかのシャーシが浮き上がらない状態)。バランスが悪ければシャーシの両端を少しひねって調整して下さい。



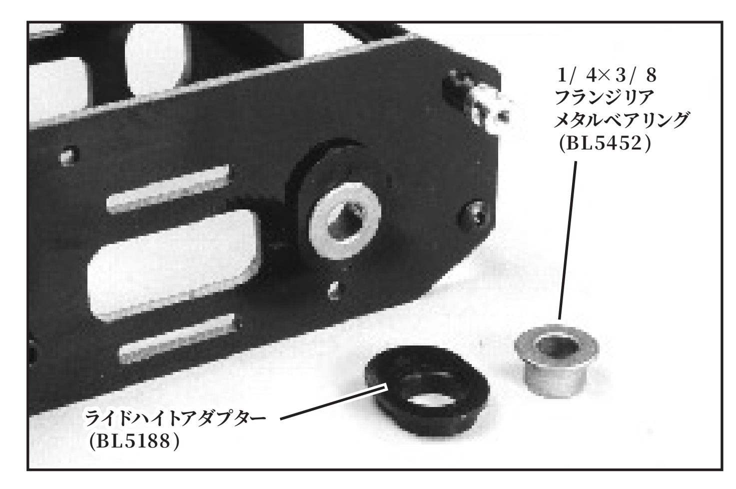
STEP5 BAG 1L 2を開け、ジャムナット (BL7206) をキングピン (BL5377)に付け、できた物をフロントアクスルプレートの両端の穴にはめ、キングピンの下からロックナット(BL7207)で締め固定して下さい。



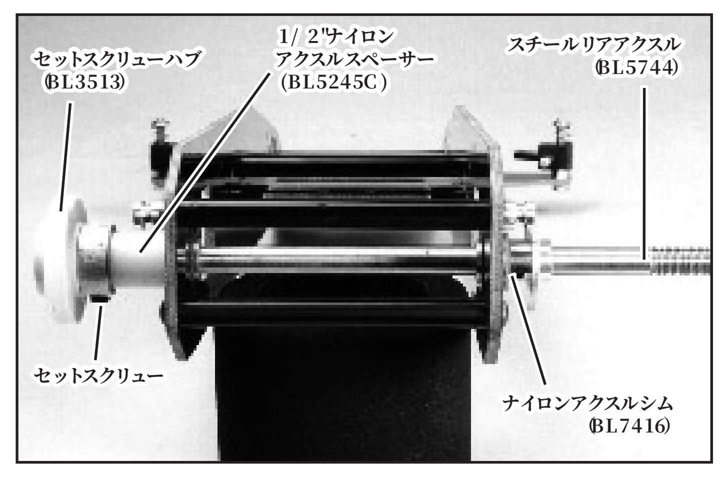
STEP6 2本のスタブアクスル (BL5364) にそれぞれEクリップ (BL5221) をはめ、ステアリングブロック (BL5351)に差し込んで下さい。



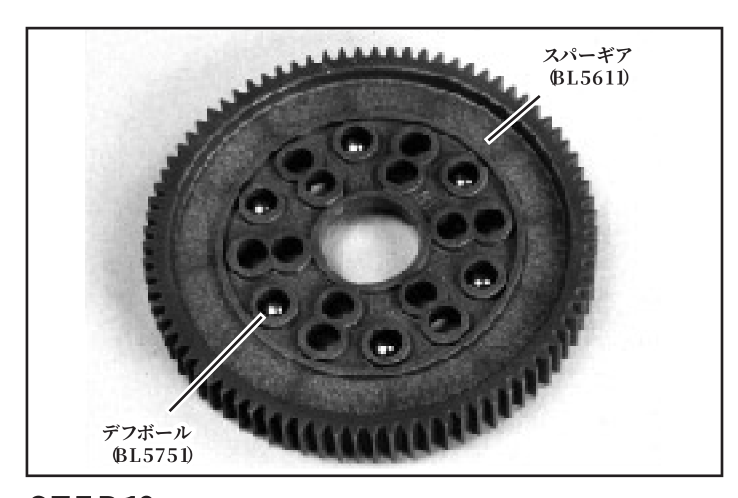
STEP7 キングピンに少量のオイルまたはシリコンオイルを塗ります。そこにステアリングブロック、フロントスプリング (BL5228)、スチールワッシャー、Eクリップの順番で取り付けて下さい。



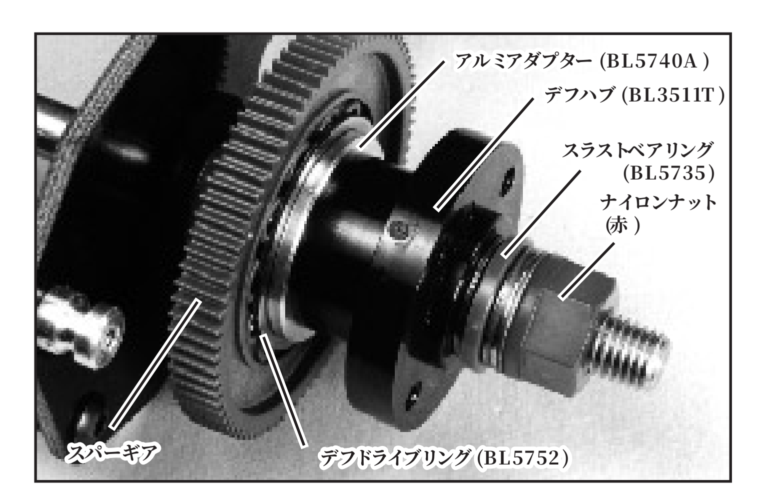
STEP8 BAG 2S を開け、ライドハイトアダプター (BL5188)を左右のリアアクスルホールに左右同じ様に取付け、ライドハイトアダプターにはフランジリアメタルベアリング (BL5452)を押し込み、取付けて下さい。



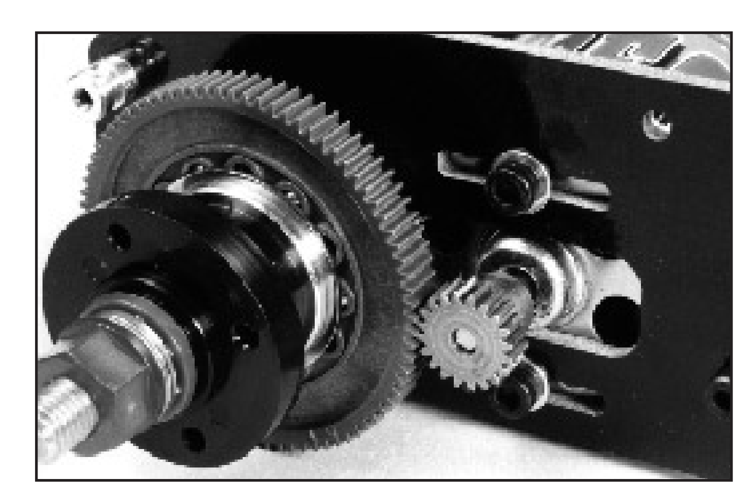
STEP9 スチールリアアクスル (BL5744)の右側からナイロンアクスルシム (BL7416)を1つ通し、シャフトをシャーシにスライドさせ取付ます。そして1/ 2"ナイロンアクスルスペーサー (BL5245C)を通しセットスクリューハブ (BL3513)をセットします。アクスルにほんの少し遊びを持たせ、セットスクリューで均等に締めて下さい。



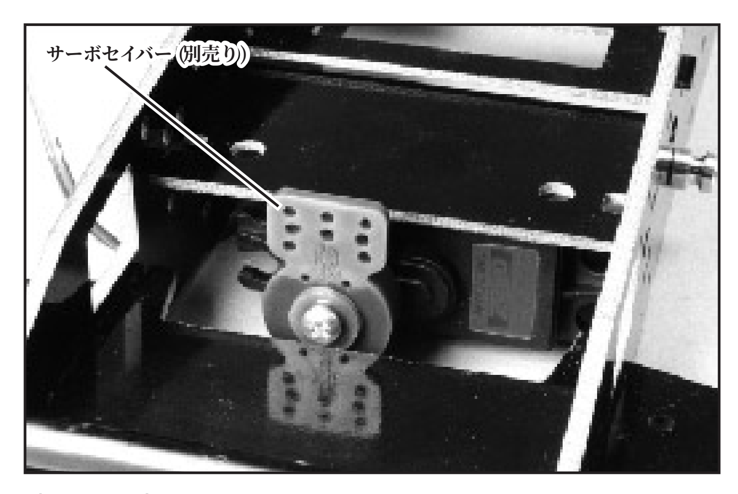
STEP10 デフボール (BL5751)をスパーギア (BL5611)の外側の列の穴に1つおきに入れて下さい。それぞれのボールにデフルーブ (別売り)を少量注して下さい



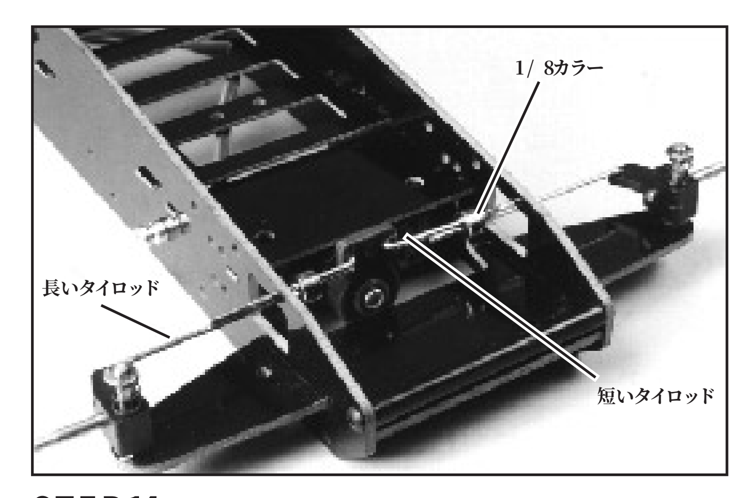
STEP11 デフドライブリング (BL5752)、スパーギア、デフドライブリング、アルミアダプター (BL5740A)、デフハブ (BL3511T)、薄いスチールワッシャー、スラストベアリング (BL5735)、厚いワッシャー、コーンワッシャーそして赤いナイロンナット (デフ用) (BL7218)の順番にデフを組み立てます。両ハブを持ってギアが滑らなくなる程度までナットを締めて下さい (写真と展開図のページを参考にしながら正しい順番で取付けられているか確認してください。)



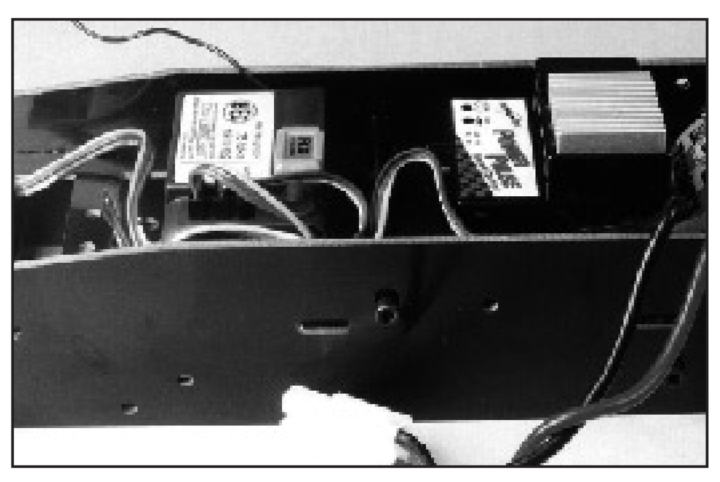
STEP12 お手持ちのモーターを BAG 3L に入っているネジ、ワッシャーで取り付けます。モーターにピニオンギアを取付け (モーターシャフトとピニオンギアが平面になるように)、モーターをギアが噛み合うところまで後ろにスライドさせて下さい。ギアに少しの遊びがあることを確認して、モータースクリューをしっかり締めて下さい。ギアを何回か回し、もし必要であれば再度モーター位置を調整して下さい。



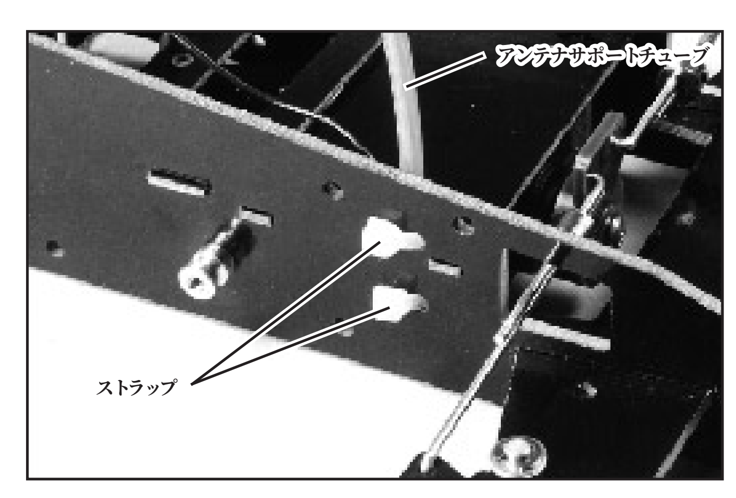
STEP13 サーボ、アンプと共にメーカー付属の取扱い説明書に沿って接続して下さい。送信機のスイッチを入れ、サーボのセンターを出して下さい。サーボテープは保護紙を剥がさずに切り取り、サーボプレートの下面に当ててみてテストして下さい。貼る前に接着面を清潔な乾いた布またはアルコールで拭いてから貼り付けると良いでしょう。シャーシスペーサーとサーボプレートの間に固定するときにできるだけサーボセイバーが中央に来るようにして下さい。



STEP14 2本の短いタイロッドをサーボセイバーに取り付け、2本の長いタイロッドは左右それぞれのステアリングブロックに取り付けて下さい。短いタイロッドと長いタイロッドを左右それぞれ組み合わせ、中間に1/ 8カラーを付属のイモネジで留めて下さい。この時アクスルが外側に向く様に調整して下さい。



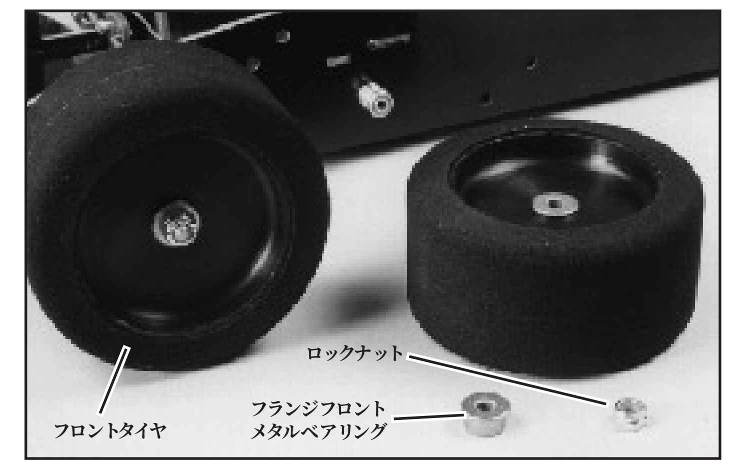
STEP15 バッテリートレイの上面に受信機、アンプをサーボテープで取り付けます。この時、バッテリートレイの左右の隙間にタイストラップを通してバッテリーを下面に固定するので、この部分にメカ類が当たらない様に間をあけて下さい。



STEP16 BAG 3L からアンテナサポートチューブを取り出し、アンテナワイヤーを通して下さい。これを左右どちらかのシャーシ脇に小さいストラップ2本を使用して取り付けて下さい。アンプ、ステアリングサーボを受信機に接続し、余分なワイヤー類(アンテナワイヤーも含む)は受信機の近くにテープでまとめて束ねて下さい。



STEP17 シャーシを裏返し、バッテリーを取り付けます。取り付けには付属のリューザブル・タイストラップ2本を使用して下さい。それからスイッチをサーボテープでバッテリーの隣、またはサーボの隣(ワイヤーの長さが十分にある場合)に貼り付けて下さい。これでボディを外す事なくスイッチのオン/オフを行えます。なお、スイッチのワイヤーがバッテリーに接触しないように気を付けて下さい。



STEP18 フロントタイヤに BAG 3L から取り出したフランジフロントメタルベアリング(BL5457)を内側と外側に取付ます。スタブアクスルにオイルを注してからタイヤを取付、ステアリングBAGに入っているロックナットでタイヤを固定して下さい。リアタイヤは BAG 2S に入っている3/ 8スクリューでハブにネジ止めして下さい。この時リアアクスルブッシングにもオイルを注して下さい。

STEP19 メカ類、受信機のスイッチを入れて、必要に応じたステアリング、スロットルの調整を行って下さい。

ロールバー

ロールバー取り付け用に1/ 8インチ（約 3mm）程度の穴を印に合わせ、4箇所に開けて下さい。取り付けには付属の4本の小さなネジで止めて下さい。

ウインドシールド

ボディにペイントを施し、イラストの様にカットして下さい。

エアーファンネル取り付け用に黒く塗りつぶした部分をカットします。

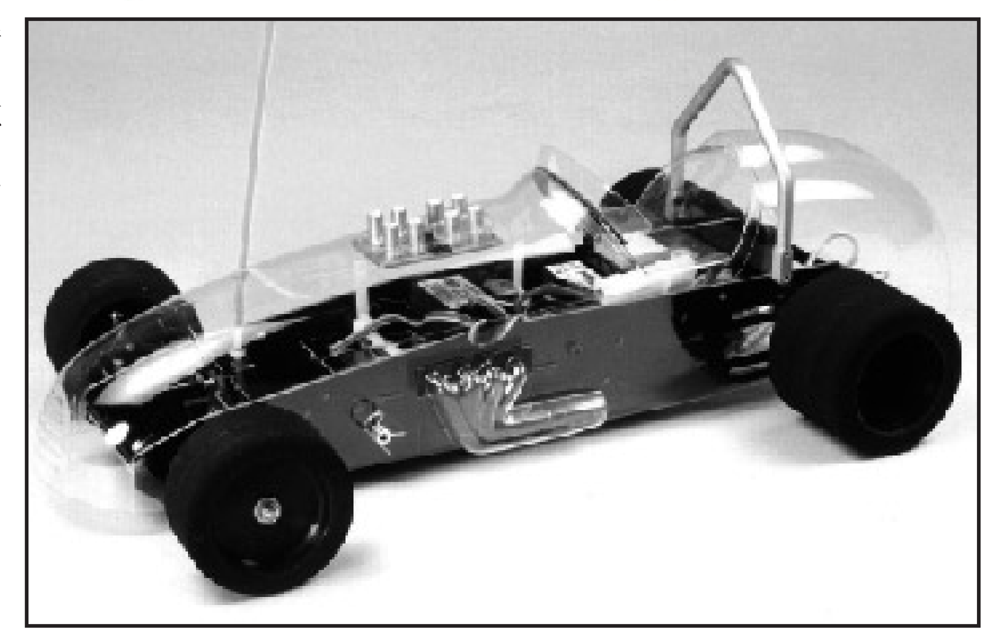
ウインドシールド、エグゾーストパイプ、エアーファンネルを両面テープでマウントして下さい。

エアーファンネル

エグゾーストパイプ

ボディマウント用に1/ 4"インチ（約 6mm）程度の穴を前後 4箇所に開けて下さい。

STEP20 ボディのペイントと切り取りを行って下さい。ボディマウント（BAG2216-3）を取り付け、ボディの固定には BAG H1に入っているボディクリップを使用します。これで完成となります。
さあ、出来上がったインディーロードスターキットを持って野外に走らせに行きましょう。



INDY ROADSTERに役立つヒント

組立と準備

●メタルベアリングをシャーシにつける時はまっすぐに押し込むように気をつけてください。

●キットのフロントアクスル用ロックナットはきつくなっています。スタブアクスルをペンチで押さえてナットを何回か通してください。こうすることでアクスルがステアリングブロック側で回るのを防ぎます。

●リアアクスルのならしはリアアクスル・モーターを取り付けてアクスルを10分から15分回転させてください。低粘度オイルをメタルベアリングに何分かおきに充分につけてください。こうすることでメタルベアリング内側とアクスルの表面を磨くことになります。両シャーシのリア側を少しひねって、自由に動くか確認してください。

予防的メンテナンス方法

あなたのRCカーがいつもすばらしい走行を保つためには予防的メンテナンスが必要です。下記の事項を定期的にチェックしましょう。

●フロント・リアのメタルベアリングをきれいにし、潤滑油を注す
●モーターブッシングに軽く潤滑油を注す
●ギアの噛み合わせをチェック—必要であればモーターを調整
●セットスクリューハブとアクスルシャフトの遊びをチェック
●フロントホイールが一直線になっているかチェック
●キングピンのロックナットのしまり具合
●デフをきれいにしデフルーブを注す。デフのきき具合をチェック
●キングピンをきれいにし、潤滑油を注す

INDY ROADSTERパーツリスト

品　番	品　名	価　格	備　考　2002.3.25
BL1370	Indy Roadsterキット	\15,800	
BL2216	Indy Roadsterクリアボディ	\3,800	
BL2400	ボディクリップ	\180	
BL2438	ボディマウント　クリップ付	\380	
BL3053F	ブルードットフロントタイヤ 2.4OD(1pr)	\1,900	
BL3352F	グリーンドットリアタイヤ 2.4OD(1pr)	\2,300	
BL3511T	デフハブ	\480	
BL3513	セットスクリューハブ	\1,600	
BL5049	シャーシプレート	\3,100	
BL5188	0.062ライドハイトアダプター(1pr)	\400	
BL5221	Eクリップ - フロントホイールリテイナー	\200	
BL5228	フロントスプリング	\350	
BL5242	バッテリートレイ	\1,100	
BL5244	フロントアクスル	\1,100	
BL5245B	ナイロンシャーシスペーサー(6)	\700	
BL5245C	1/2ナイロンアクスルスペーサー	\250	
BL5249S	サーボプレート	\650	
BL5308	タイロッド&カラー　ステアリングリンケージキット	\400	
BL5351	ステアリングブロック(2)	\480	
BL5364	スタブアクスル(2)	\550	
BL5377	キングピン(2)	\580	
BL5452	1/4x3/8フランジリアメタルベアリング(2)	\250	
BL5457	1/8x5/16フランジフロントメタルベアリング(4)	\250	
BL5551	48P 21T ピニオンギヤ	\480	
BL5611	48P 81T スパーギア	\700	
BL5735	1/4 D スラストベアリングセット	\550	
BL5737	1/4 D コーンワッシャー	\350	
BL5740A	アルミデフアダプター	\280	
BL5744	スチールリアアクスル	\1,300	
BL5751	0.125デフボール(8)	\250	
BL5752	デフドライブリング(4)	\350	
BL7030B	5-40x3/8キャップヘッドスクリュー(8)	\250	
BL7044	3/8"ボタンヘッドスクリュー	\250	
BL7055	1/2"スタッドセットスクリュー	\250	
BL7150	4-40x1/8セットスクリュー(8)	\250	
BL7160	10-32x1/4セットスクリュー(6)	\250	
BL7206	5-40ジャムナット(8)	\250	
BL7207	5-40ロックナット(8)	\250	
BL7218	1/4-28ナイロンナット(デフ用)(6)	\250	
BL7404	1/8スチールワッシャー	\250	
BL7416	1/4 D ナイロンアクスルシム	\250	
BL7600	ヘックスレンチセット	\350	
BL7613	プラスチックソケットレンチ	\480	

商品の詳細はパワーズのWEBサイトにてご覧いただけます。
www.powers-international.com

メールでのご質問・お問合せは、こちらにお願いいたします。
support@powers-international.com

総販売代理店












NDY ROADSTER BL1370展開図

